**第６２回観察会　５月15日(木) 12:05～12:55　晴れ**

**テーマ『雑草を見て歩こう』**

**☆ガイドレポート**

この時期は出現する雑草が交代する時期にあたります。目当ての草種が観察できるかどうかは予想がつきませんでした。歩くのなら確実にできると思いました。そこで、タイトルを「雑草を見て歩こう」としました。実際、4月と5月上旬の下見のときに、確かにあったムラサキケマンの花はありませんでした。その代わり、下見のときにはなかったニワゼキショウの花がありました。雑草が交代する時期というのは冬の雑草が結実・枯死するからです。でもその前に花を咲かせます。こちらについては予想通り、花盛りでした。参加者の方々に、出現する雑草の種類が季節の変化をよく反映することを実感していただけたのではないでしょうか。

また、強いものの代名詞とされることが多い雑草が、植物園のどこにでも生えているわけではなく、実は、踏みつけや刈取りなどのあるなしに対応して、生える場所が決まっていることを観察していただけたと思います。雑草の観察は、季節の変化を感じることができます。どのような立地にどの草種が出現しやすいかを観察・推理するのは興味深いです。今回の観察会をきっかけに、身近にみられる雑草の生き様に目を向けていただければ幸いです。

ガイド：田中聡さん（京都大学農学研究科）

**☆参加者の感想**

* 日頃、雑草には関心がなかったが、本日の説明で興味を持つようになりました。今後、雑草について勉強したいと思います。
（参加2～5回、60才以上、京都市外のかた、男性）
* 雑草かどうかは、人間が決めるとのこと。今度は農家の立場からの雑草の説明を聞いてみたい。草の世界は奥深いです。
（参加5～10回、18～30才、京大理学部院生、男性）
* 初めてこの植物園へ入って、まだまだ立ち止まって見たいところがいっぱいでしたので、また機会があれば参加したいです。雑草学というもの、初めて知りました。わかりやすく説明していただいて、面白かったです。ありがとうございました。
（初めての参加、30～60才、女性、京都市内のかた）
* 雑草を観る目が違って来ました。ありがとうございました。
（参加10回以上、60才以上、男性、京大近辺のかた）
* 気持ちよく散歩させてもらいつつ、楽しいお話を聞かせてもらえてよかったです。ありがとうございました。
（参加2～5回、京大農学部教員のかた）
* 雑草の種類が多いので勉強します。
（60才以上、男性、京都市内のかた）
* 大変面白かったです。身近にある雑草のことを、何も今まで知らなかったけれど、これからは注意をはらっていきたいです。ぜひ次回も参加したいです。
（初めての参加、18～30才、京大近辺のかた）
* 身近な雑草ですのによく知らず、とても興味深く思いました。ありがとうございました。
* 雑草については始めて学びました。雑草と言ってもそれぞれ立派に生きていることを知りました。ありがとうございました。
（参加10回以上、60才以上、男性、京大近辺のかた）
* いろいろな雑草が必死になって生きているのでしょうか？家に生えている草くらいは名前を覚えようと思っています。ありがとうございました。
（初めての参加、30～60才、数理解析研究所職員のかた、女性）
* 雑草の事を「コイツ達は…」と楽しく説明され興味が湧きました。帰りには足を置くのがつらい位雑草をいとしく思えました。
（60才以上）
* 雑草がどこに生えるか、それぞれの適した環境や戦略がよくわかった。ありがとうございました。
（参加6～10回、30～60才、女性、京都市内のかた）
* 5月の春の野草に感激しました。
（参加10回以上、60才以上、男性、京都市内のかた）
* 初めての参加でしたが、わかりやすくて良かったです。我が家の雑草の名前や生態を知ることができ、参考になりました。近いのでまた参加させていただきたいと思います。よろしくお願いします。
（初めての参加、30～60才、女性、京大近辺のかた）